

学術情報センターの施設保守整備について

引用	学術情報センター年報 情報. 23, p.6-7
URL	http://hdl.handle.net/10466/15621

学術情報センターの施設保守整備について

学術情報室 大前 富美

1. はじめに

学術情報センター（旧名称は「総合情報センター」）は、1992年9月に建物竣工、翌1993年3月に開所し、同4月から業務を開始した。2017年現在、設置から既に25年経過しており、施設・設備の経年劣化が目につくようになっており、本学の図書館機能と情報システム機能を担う、基幹となる施設の機能を低下させることのないよう、施設の保守及び整備が大きな課題となっている。

2. センターの沿革

学術情報センターの建設については、1983年頃から、当時の学内委員会やワーキンググループ等での審議、検討を重ね、1988年に「大阪府立大学総合情報センター（仮称）基本計画」が策定された。その目的は、「技術革新の進行や国際化の要請など、激動する社会環境に即した教育・研究を強力に支援・活性化し」、また「開かれた大学として、大学が持つ学術情報、研究成果等の情報資源の提供を行うことをめざす」とされ、「図書館機能、情報処理・情報通信機能およびホール機能を併せ持つ学内外に開かれた学術情報の拠点」であるとされた。施設設備は、その機能を果たすために、図書館部分、情報システム部分、大ホールで構成された。現在（2017年時点）の主な施設概要を以下記しておく。

【図書館部分】

- ・開架閲覧室（1F 2F）1,990 m²
- ・書庫（B1F B2F）2,661 m²
- ・ラーニングcommons（開設時、視聴覚室）203 m²

【情報システム部分】

- ・実習室
- ・オープンスペース
- ・マルチメディア室
- ・主計算機室

【大ホール】

- ・客席 1,200席（1F 904席，2F 296席）
- ・舞台
- ・楽屋 2室
- ・講師控室 1室

3. 保守の状況（2016年度）

2016年度中に下表記載の設備保守及び工事等を実施した。

No.	項目	内容	進捗状況
1	トイレ改修	大ホール1階トイレ改修（和式→洋式）	完了
2	地下書庫湿度管理	除湿機の点検・修理	対応済
3	地下書庫湧水処理	壁面からの湧水処理。電動書架レールの錆落	対応済
4	大ホール天井工事	天井耐震対策工事	天井落下 防止対応済

5	ランプ更新	大ホールランプ等の不具合により交換	完了
6	ロビー照明増設	図書館ロビーのLED照明器具の追加	完了
7	電動書架改修工事	制御部・駆動部更新工事	一部完了
8	広場舗装工事	建物前広場のタイル張替工事・駐輪スペース整備	完了
9	雨漏対応（大ホール）	屋上からの雨漏りへの一時対応	対応済
10	閲覧席椅子張替	座面の汚損・破損（擦り切れ等）による張替	継続中

4. 今後の課題

学術情報センターの施設保守には、予算確保はもちろんのこと利用者への事前周知等が必要となるため、優先順位を勘案しながら計画的に準備する必要がある。今後に向けて、喫緊の課題となっている主なものは、大ホールの雨水漏れへの対応や照明設備の更新である。客席数 1200 を有する大ホールは、教育研究活動を通じての交流の場として利用できるほか、公開講座等により府民の生涯学習や文化的ニーズに応えていくための施設となっている。図書館部分、情報システム部分の施設と併せて、本学が「開かれた大学」として機能するために、また学術情報センターが本学の「学内外に開かれた学術情報の拠点」であるよう、学内関係部署と連携し、コンセンサスを得ながら、整備を進めていきたい。